

講師のひとりごと

『人の振り見て我が振り直せ』

人の振り見て我が振り直せという言葉... 業が浮かびます。意味は他人の行いか...

お奨め図書のコナー

『営業はつかみ一秒、あと楽勝』

いとう伸(あさ出版)

著者は実演販売プロデューサーとして活躍中... 某化粧品販売会社から独立...

から自らの行動を改めるのはより難しいのです。

訓練中の場面で、管理者特訓の参加...

ながら分かりやすく説明している。特に営業... 商品の特徴が伝わらず、お客様の心を動かすのに苦労している人には、おすすめの一冊だ。

『高峰秀子の流儀』

斎藤明美(新潮社)

不世出の名女優高峰秀子。四歳で子役でデビューし、その後スターの仲間入りを果たすも、その華やかな舞台の裏では継母に搾取の限りを尽くされる。その中で彼女がどう生き抜いたのか、

とわかりました」と言いながら喜んだのです。

その成功の秘密はまさに「人の振り見て我が振り直せ」です。先に合格した訓練生はスピーチの後に喉がかわらないにもかかわらず、自分がかれていない。つまりは声を出しているつもりが、他の人よりも全く声を出せていなかった事に気付く事が出来たのです。仕事をするうえで時に足並みをそろえる場合もあります。また、いち早く仕事を覚えなければならぬ事もあ...

それらの経験から高峰秀子が得たものは何だったのか。著者がこれまでの取材経験などから迫っていく。「うまい」の否定形から始まる高峰秀子の強さと、普段の自分を重ね、まだまだ精進しなければと思わされる一冊である。



編集後記

新緑が眩しい季節を迎えました。が、如何お過ごしでしょうか。この間、道端ですれ違った方に「こんちは」と挨拶をされました。私は一瞬自分に見られたのかどうか分からず、周りを見渡しましたが、周りに人はいませんでした。少し戸惑いながらも挨拶を返し、少し戸惑いながらも挨拶を返し、また反響しました。地元田舎に住んでいいた頃は、近所の人は皆顔見知りでした。挨拶する事は当たり前でしたが、仙台に住むようになってから見知らぬ人に挨拶された事は初めてでした。思い起こせば、震災から数日後、まだ辺りが暗電していたため、暗闇を懐中電灯で照らしながら歩いていた時にも「気を付けてね」と見知らぬ方から声をかけて頂いた事がありました。最近では、近所付き合いや、人付き合いが希薄になっていっているように思いますが、人と人が協力し、支え合うという姿が本来在るべき姿なのだと、震災やこの出来事を通じて再認識させられました。基本的なことですが、やはり挨拶とはとても気持ちの良いものです。

ビジネス教育訓練所株式会社 閃光編集部 スタッフ一同

閃光

平成二十三年水無月号



ボランティア

東日本大地震の復興はまだまた時間がかかるであろう。全国から、多数のボランティアが集まり、復興の大きな力になっている。予想以上の人数で、断られる人も数多くいるという。宿の手配・食事をボランティア本人が手配し、かなり危険な作業に従事している人もいるようだ。被災にあつて困っている人を助けたいという思いで行動しているのだが、頭の下がる思いである。私は、若い時に父親が急死したり、母親も亡くなったりと、必死に働いて生活できるようにしなければいけない状況だったため、無料で人のために尽くすということは考えられなかった。したがって、純真に人のために一生懸命働いて尽くすというよりは、敬服に値する。人間はすばらしいと思う反面、そこまでするものなのかと考えさせられた。人間の本性は、世のため人のために尽くしたいということがあるのだろうか。それが、充実感を味わえるのだろうか。働いてお金をもらえるもええなはいはともかく、働いていることがみんなに喜んでもらえる、感謝される、ことが人間にとって究極の目指すところなのかもしれない。大地震によって、直接被害にあった会社だけではなく、間接的にも影響を受け、内定取り消しやリストラせざるを得ない会社も増え、仕事をしたくてもできない人が多くなった。少なくとも、働くことが出来るような社会になるよう政治家は全力でがんばってもらいたい。私は、第一線を退いたら、何かボランティア活動をやってみようかという思いが出始めている。

ビジネス教育訓練所株式会社

代表取締役 三塚 信二

新入社員教育四日間合宿

五月十三日(金)〜十六日(月)

今年二回目の新入社員教育四日間合宿が開催されました。東日本大地震の影響で、入社式を一ヶ月ずらしたり、新人研修の予定が変更になった企業が多いため、五月にも新入社員コースを特設し、実施する運びとなりました。そのため、今回はそのような企業からの参加がメインとなり、医療関連周辺機器販売、洗浄装置製造販売等、各方面から新入社員が集まりました。訓練生の多くは、序盤から新人らしく明るく元気を取り組んでいました。入所式の自己紹介では「声が小さい」「内容が抽象的」「言葉に詰まる」という状況で、何度もやり直しとなりましたが、心折れる事無く積極果敢に挑戦していました。一方、チームワークが求められる訓練では、自分のことばかりを考えてしまいがち、周りが見えなくなる訓練生が多く、苦戦しました。各審査においても、他人から学ぼうと

いう意識が低く、同じ失敗を繰り返す訓練生が続出しました。しかし、失敗を繰り返しながら、協力することの大切さや、力を合わせるために自分がどう動くべきかを一人一人が考えられるようになると、自ずと審査の点数も高くなっていきまし。中には他の訓練生に手伝ってもらっても思ったように結果が出せず、悔しさや情けなさから、審査会場を飛び出してしまいう訓練生もいました。しかし、仲間から叱咤激励されることで、自分の甘さや弱さに気づき、その後は奮起して審査に挑んでいました。今回は延長者が2名出ましたが、延長した分、学びも多かったようです。「今度来る時は管理者特訓で！」と力強く述べ、会場を後にする姿が頼もしく思えました。今回の研修で学んだ事を仕事でも実践し、活気のある職場を作っていくって欲しいと思います。

参加者の声

私にとって、この訓練はとても意味のあるものでした。合宿に行く前は正直すごく嫌でした。しかし、訓練を終えた今は、合宿に行き良かったと感じています。正面からぶつかってくれた先生、協力し支え合える仲間がいるという素晴らしい環境、訓練の中には辛いものもありました。しかし、その辛い事を乗り越えられなければ、この先組織の中で壁にぶつかった時に、乗り越えられるでしょうか？訓練の内容は全て自分のためになるものでした。私はこの熱い気持ちを持ち続けます！そして素晴らしいビジネスマンになります。帰るときには名残惜しくさえ感じました。本当にありがとうございました。



グループ討議の様子

『新入社員』

震災から二ヶ月以上経ち、徐々に今後の復興計画が明らかになってきた。...

きには厳しく叱るといふ当たり前の事が重要なこと。三つ目は、育成計画を立てて指導する事。...

さて、前回は近年における新人の傾向を紹介しました。今回は、彼らへの教育方法として重要な点を三つ挙げます。...

また、新人の教育が上手にいく事によって波及効果もありません。新人が仕事をどんどん覚えて業績を上げられる様になる。...

ビジネス特訓四日間合宿

管理者特訓六日間合宿

今回は、南は東京、北は秋田から全十名の参加者が集いました。入所式から全力疾走する訓練生が。...

「できるできない」ではなく「やるかやらないか」行動力と粘りを持って、震災後の日本に活力を与える社員に成長してほしいものです。...

北は秋田、南は東京から七名が集い、熱い合宿訓練が行われました。今回は、継続して参加している会社がほとんど。...

実は、昨年五月の管理者特訓でも大変苦戦し、翌日五時二十分に到着しており、五月は訓練生にとっては鬼門のようです。...

備えあれば憂いなし

東日本大震災発生時、人々はどのような行動をとったのか。防災関連の需要が高まっている今、ライフラインがストップした数日間、必要になった物、あると便利だった物等、どんな物を用意したらいのかという声にお応えして、1例としてご紹介致します。...

【持ち出し用リュックの中身】

- ◆飲料水 最優先です。持てるだけ確保すると良いでしょう。
◆非常食 火を通さなくても食べられる食品。
◆医薬品 常備薬、衛生用品、ばんそうこう、ピンセット、消毒薬、整腸剤、持病のある方はその病気のための薬。
◆衣類 保温効果のある肌着、タオル、下着類、靴下。
◆入れ物 ビニール袋(透明・黒)。
◆貴重品 現金(小銭も)、パスポート、クレジットカード。
◆その他 筆記用具、はさみ、洗面用具、カッター、カイロ、ティッシュ、ウェットティッシュ、マスク、保温アルミシート、敷物、軍手、水のいらぬないシャワー、簡易消火スプレー、ライター、加熱袋(袋に入れた物を温めるもの)、以前使っていた携帯電話(内部のカードを入れ替えれば利用可能な為)。

六月の研修のご案内

営業マン特訓五日間合宿

「売れない時代」と言われる昨今ですが、そのような時代でも着実に業績を伸ばしている企業もあります。...

マネージャー特訓三日間合宿

職場や接客のマネージャーの神髄を奥深く理解し、作法を身につけるための合宿です。...

七月の研修のご案内

管理者実践三日間合宿

企業を伸ばすも潰すも、部下を生かすも殺すも管理者次第。管理者の皆様にはそのくらしの気持ちを持って仕事に臨んで欲しい。...

ビジネス特訓四日間合宿

その中で行われた三十キロ夜間歩行訓練では、晴天ではあったものの、序盤から故障者が続出し、歩行のペースが大変遅くなりました。...

「非常時、パニックより危険な人間の心理とは?!」

大災害などが発生した際に、パニックに陥るといふ人は意外と少ない。それよりも危険なのが「正常性バイアス」と呼ばれる心理だ。これはどんなに危険な状況に遭遇しても「自分だけは死なない」「こんなはずはない」等、慌てないように自分を抑制しようとする心理が働く状態である。...